

外国人困窮者支援のいま
—北関東医療相談会月間レポート：2022年10月版—

■支援日誌

□10月3日「K君の手術」

皆様へ

K君の手術費用について報告します。手術は無事に終了し、経過を今月26日に確認します。しばらくは経過観察をすると思いますが、特段問題なければ早いうちに開放されると思います。

肝心の費用ですが手術代金として病院から請求が来たのは¥784,612円です。皆様からいただいた寄付金は¥720,000円でした。個人負担の¥64,612円はお父さんから出してもらいます。

当初3,000,000円と言われていたのが、当会が入ることによって150万円となり、手術は1,000,000円と言われ、精査すると784,612円でした。集まったお金も結局72万円と本当に恵の時でした。ただし、これから兄弟が喘息、さらに心臓病と病気との闘いが続きます。在留資格を頼らなければいけない状況が続きます。

皆様の温かい関係と関心と支援が必要となります。よろしくお願ひします。長澤拝このことを当教団の司教に尋ねた応えは「御摂理です」と言っていました。ウーン宇宙の始まる前からの計画か、企画書はどこで書いたのでしょうか。

□10月19日「Good Smarita」

皆様へ

昨日、名古屋方面の方に電話をいれました。昨日運よく手術が終わったとのことでした。皆様の多大なご支援とご協力、関心を寄せていただいて手術費用が全て集まり、しかも病院も協力金が集まったことで喜んで手術費用も勉強して下さったとのことでした。ありがとうございます。心から感謝します。

主催者の担当のMさんともお話をすることができました。Mさんも喜んでいました。他人の喜びが自分の喜びとなり幸せになっている Good Smaritan でした。

最後に名古屋方面にはアミーゴスが無いので一緒にやりませんか、と伺ったらやりたいとの事を言っていました。今後の展開が楽しみです。尚、Mさん曰く、このFBで紹介していただいたときから入金急激に伸びたとのことでした。皆様の拡散のおかげです。私たちの願ひが届いた瞬間です。感謝します。

これで名古屋で医療相談会が開催できるかもしれません。その時は皆様にもご一緒いただき働きたいと思ひます。

金額の報告はこれからになると思います。尚、即日に M 様から感謝の意向として 10 万円当会へ寄付として入金いただきました。これも今後準備している手術や治療すべき人々の支援金にしていきます。心より感謝します。尚今後のスケジュールは以下のとおりです。

- ① 30 年来心房細動に苦しむイラン人仮放免者の手術 290 万円
- ② アフリカの風土病の治療に苦しむガーナ人オーバースティ 費用未定
- ③ 小児腎臓病に苦しむスリランカ人の仮放免者家族未定
- ④ 子宮内膜症に苦しむクルド人仮放免者 100 万円
- ⑤ 現進行形の出産 2 件 入院助産制度を使うも自己負担分 50 万円程度
- ⑥ 食道がんのナイジェリア人男性 手術と抗がん治療費 300 万円

その他いろいろです。

今後も続きます。長澤拝


□10月25日「アフシンさんの医療費」

皆様へ

新たにイラン人アフシンさんの件をお知らせします。私は、彼の事を全く知りませんでした。彼は、来日 30 年の仮放免者でこの筋では知らない人はいないと言うことです。彼は、数度の帰国を拒否し、一度は機内に連れ込まれ脱出したと言われていました。そして多くの支持者に暖かく支援を受け今日まで生きてきました。彼は自分の心臓病で大変になってきたところ、当会の K 君の事が取り上げられじっくり読んだところ、彼の心臓病の治療方法も同じであること、費用もことのほか安く驚いて連絡をしてきたのです。それからあちこちからアフシンさんを助けてと言う声が立ち上がってきました。初期の病院の治療費が 800 万円と言われていましたが、次の病院に話をするとおおよそ 290 万円となりました。私たちを含め複数人で「アフシンさんを心臓病から救う会」となりました。11 月一杯までお金を集めることにしました。皆様も、多くの人に拡散していただきたく思います。よろしくご協力いただけるとありがたく思います。

尚、お金は以下のところで入金いただくとありがたく思います。

尚、入金の際は友達基金「アフシンさんのハートを支える会」と記入ください。



イラン難民アフシンさんの 緊急手術支援（寄付金）のお願い

「アフシンさんのハートを支える会」

アフシンさん（通称名）（56歳）は1990年に来日したイラン難民申請者です。以来32年間、4回の難民認定申請を日本政府に行いましたが、未だに在留資格を認められず、計3回4年近く入管収容施設に収容された経験があり、この12年以上「仮放免」の状態が続いています。

2006年には入管収容施設から無理矢理強制送還されそうになり、飛行機搭乗直前に抵抗して怪我を負い、深い「心的外傷後ストレス障害」（PTSD）に今も苦しんでいます。

2010年に東日本入国管理センターから仮放免されましたが、就労することも国民健康保険に入ることも許可されません。生活困窮するだけでなく、いつ入管に再収容され本国に強制送還されても不思議ではない過度のストレスが続く中で、健康状態が悪化しても十分な医療を受けることができません。

アフシンさんは長年多くの支援者に支えられながら生活し、自力で日本語能力検定試験2級を取得するなど前向きに生きてきました。しかしこの数年健康状態が優れず、通院している病院からも「心臓の病（「心房細動」「慢性心不全」）の手術が必要」という診断書が出ています。手術しなければ死に至ることもある病です。「カテーテルアブレーション」という手術が必要ですが、手術は先延ばしにされてきました。この数年、自宅で心臓の動悸が急に激しくなったり、半身麻痺で病院に救急搬送されたことが何回ありましたが、手術を受けることができませんでした。

この間、在留特別許可を法務省に求めましたが認められず、現在4回目の難民申請の審査請求（異議申立）中です。在留資格を取得し健康保険に加入して3割負担で手術を行う時間的、体力的な余裕がもうありません。

そのため、支援者間で相談したところ、より低額で手術をして下さる医療機関を見つけることができ、緊急に290万円を、アフシンさんの心臓手術の費用のための基金として集めることになりました。年内の手術を目標にしております。

**第一次募金のメ切りは、
2022年11月30日です。
皆様方のご理解とご支援をどうぞよろしくお願い致します。**



【寄付金の振込先】
寄付金の集約は、「ともだち基金」(注)
(代表：シスター小野)で行います。

ゆうちょ銀行 郵便振替口座
00210-9-103563
口座名：わたぼうし教室

*通信欄に、ともだち基金「アフシンさんのハートを支える会」と明記して下さい。
ゆうちょ銀行、他の金融機関からの振込、
インターネットバンキングサービス等の場合

銀行名：ゆうちょ銀行
金融機関コード：9900
店番：029
預金種目：当座
店名：〇二九店（ゼロニキュウ店）
口座番号：0103563
口座名：ワタボウシキョウシツ

ご寄付は、アフシンさんの手術、医療費に使わせて頂きます。余剰が生じた場合は、
ご報告の上、アフシンさんのように生活困窮する難民認定申請者等の
医療費・生活費の支援に使わせて頂きます。

(注)「ともだち基金」は、難民認定申請者等を支えるために2020年7月に設立。
入管に収容されている人や「仮放免」中の人たちの「命」を支える活動です。

「アフシンさんのハートを支える会」 (心臓手術を支える会)

連絡先：
070(7404)5045

【呼びかけ人】
阿部裕（四谷ゆいクリニック）
岩井信（弁護士）
シスター小野恭世（イエズス孝女会、
ともだち基金）
長澤正隆（カトリック助祭、北関東医療相談会）
西中誠一郎（ジャーナリスト）
山岸素子（日本カトリック難民移住移動者委員会）

□10月29日「院内集会・省庁交渉のお知らせ」

皆様へ

下記の案内は次週の11月2日（水）午後から生きられないと称して在留資格の無い外国人、特に仮放免者の生の声を中心に院内集会・省庁交渉を行います。

お時間のある方はぜひ集まって支援をしてください。尚拡散を願います。また当日は前回お知らせしたアフシンさんも参加して窮状を訴えます。よろしくお願いいたします。

在留資格のない外国人の生存権を求める院内集会と省庁交渉

生きられない！

- 在留資格のない外国人の声と支援現場からの提言 -

13:00~14:30

院内集会

国会議員に「生きられない」声を伝えよう

15:00~16:30

省庁交渉

国会議員と一緒に、政府へ「生きられない」声を伝えよう

2022/
11/2.水

▶会場
衆議院第二議員会館
多目的会議室

▶ライブ配信
youtu.be/xXC01bTG_8M

会場参加申込
10/31.月 17時迄
forms.gle/FQUcgM195bfam8y8

主催 移住者と連帯する全国ネットワーク
北関東医療相談会、反貧困ネットワーク
協力 コロナ禍の移民・難民の医療を求める連絡会
問い合わせ smj@migrants.jp

<司会> 山岸素子（移住連）

- ・ 大塚風真（北関東医療相談会・法政大学）
- ・ 高台幸（移住連・東京大学）
- ・ 長瀬正典（北関東医療相談会）
- ・ 原文次郎（反貧困ネットワーク）
- ・ 仮放免の難民申請者IさんとPさん
- ・ 日本生まれの仮放免の高校生Mさん
- ・ 南宮知暉（作家）
- ・ 沢田真志（医師・コロナ禍の移民・難民の医療を求める連絡会）*ビデオ
- ・ 瀬戸大祐（反貧困ネットワーク）

□10月29日「コロナ禍生活相談&フードバンク in 大泉」



**コロナ禍生活相談&フードバンク
in 大泉**
日時 11月6日(日) 10時~12時
場所 洋泉興業 大泉町文化むら

不況や病気・新型コロナの影響等により、生活困窮や住居の喪失、解雇、手当未払い、個人事業の減収、借金の増大、税滞納、財産差押え、親亡き後、離婚、養育費の請求やDV被害、障害年金、健康不安などでお悩みの方、弁護士ら法律家や支援者が無料相談や手続きの支援をおこないます。また生活保護等の制度説明や相談、申請同行も無料でおこなっています。

コロナ禍生活相談&フードバンク in 大泉

日時 11月6日(日) 10時~12時
場所 洋泉興業大泉町文化むら 展示棟 第1・第2研修室
住所 邑楽郡大泉町朝日5丁目24番1号



※ フードバンクのみの利用もOKです。気軽にご参加ください。
参加無料。お米、乾麺、レトルト、小麦等、無くなり次第終了です。
Distribute food at 10 o'clock. Distribuir alimentos a las 10 en punto.
Distribuir comida às 10 horas. Phát đồ ăn lúc 10 giờ. 10點分發食物
မနက် ၁၀ နာရီမှာ အစားအသောက်ဝေဝေယူ။ 10 နာရီမှာ အစားအသောက် 10 နာရီမှာ အစားအသောက်

主催 群馬中央医療生協 大泉千代田支部
共催 反貧困ネットワークぐんま
参加団体 北関東医療相談会AMIGOS、法テラス群馬法律事務所
消費者支援 群馬ひまわりの会、群馬県民主医療機関連合会、群馬県社会保障推進協議会
食料品協力 フードバンク北関東（館林市）、みまつ食品（前橋市）

後援 大泉町 群馬弁護士会 群馬司法書士会

お問い合わせ 027-234-8505 コロナ禍生活相談&フードバンク 事務局 町田茂（群馬民区連 内）
※大泉町文化むらへは、お問い合わせをしないようお願いいたします。

注)「支援日誌」は長澤正隆 Facebook を基に修正加筆を行った。

■支援状況

□個別支援（アウトリーチ支援）

- ・アミーゴスのメンバーで個別支援。
相談支援や医療支援、入管関係支援などを行う。

□食料・生活必需品等の配布

- ・食料（米、おかず、野菜、調味料など）や生活用品（オムツなど） 143 件
- ・衛生用品（マスク、石鹸、アルコール消毒液）※偶数月に2か月分送付 425 件

□住居支援

- ①群馬県高崎市に「めぐみアパート」3部屋借り上げ。
仮放免のフィリピン人2人、イラン人1人が入居中。
- ②埼玉県杉戸町に「すぎとの家」1軒借り上げ。
現在、空室。

編集：大澤優真